

平成 28 年度事務事業評価表(一般事業・継続)

No. 298

事務事業名	米需給調整システム化推進事業
-------	----------------

作成日	平成 28 年 9 月 30 日		
部局名	農林水産部		
課名	農業水産課		
課長名	下玉利 輝幸	内線	266
担当者名	川端 由紀子	内線	256

基本目標		活力に満ちた産業のまち
政策	040102	魅力ある農林水産業の振興
施策		農業の担い手の育成
関連施策		

会計	一般会計	
款	6	農林水産業費
項	1	農業費
目	3	農業振興費
事業コード	020300	

事業類型	4	ソフト事業(任意)
個別計画		
重点事業		

【PLAN(計画)】

対象(者)	誰(何)に対して事業を行うか 水稻作付農業者		
意図	対象をどのような状態にしたいか 数量調整に関する事務を円滑に実施することにより、需要に応じた米の計画生産・価格の安定を図る。		
事業概要	意図を達成するために実施することは何か 市が農協等に対して行う米の需要量に関する情報の提供、米の生産調整方針の作成に関する助言指導、米農家の生産状況等を把握するための電算処理による情報管理、生産実施状況の現地確認等、米の数量調整を行うのに必要な事務を行う。		
事業期間	平成 19 年度 ~ 平成 年度	実施方法	直営
根拠法令、要綱等	儲かるながさき水田経営育成支援事業実施要領		
国・県補助事業に係る本市単独施策	無		

【DO(実施)】

指標名(上段:名称/下段:算定式等)		単位	25年度	26年度	27年度	28年度	備考
活動指標	① 米生産量	計画値	2,896	2,697	2,744	2,724	
		実績値	2,477	2,571	2,478		
		達成度	%	85.5%	95.3%	90.3%	
活動指標	②	計画値					
		実績値					
		達成度	%				
成果指標	① 米生産数量の目標達成率	計画値	100	100	100	100	
		実績値	86	95	90		
		達成度	%	85.5%	95.3%	90.3%	
成果指標	②	計画値					
		実績値					
		達成度	%				

年 度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画
① 事業費(千円)	408	410	448	448	448	448	448	0
国庫支出金								
県支出金	408	228	228	228	228	228	228	
地方債								
その他								
一般財源		182	220	220	220	220	220	
② 人件費(千円)	0	453	1,199	873	事業内容	事業内容	事業内容	備考
職員人数(人)		0.06	0.17	0.12	米の需給調整を行うために必要な事務を行う	米の需給調整を行うために必要な事務を行う	米の需給調整を行うために必要な事務を行う	
時間外勤務(時間)								
嘱託等人数(人)								
フルコスト(①+②千円)	408	863	1,647	1,321				

※財源内訳中の「その他」には、保険料・寄付金・基金・利用料等の収入を記入しています。

【CHECK(評価)】

事業の進捗状況 昨年度の評価から、どのような取組をしましたか(昨年度の【ACTION】の改善・改革の進捗等)	国・県より提供された米の需要量に関する情報を基に、生産調整目標を達成することができた。
事業が抱える問題・課題等	

妥当性	【必要性】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	需要に応じた米の計画生産と、需給と価格の安定を図るために必要な事業である。						
有効性	【市の関与】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	米の生産数量調整目標数値は、県知事から市長に対して通知される。						
効率性	【事業成果】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	米生産数量の達成率は、90%を超えており計画生産はほぼ達成できている。						
効率性	【コスト】	削減の余地なし		削減の余地あり		該当なし	
	県の儲かるながさき水田経営育成支援事業の適用を受け実施しているため、削減の余地なし。						
効率性	【負担割合】	見直しの余地なし		見直しの余地あり		該当なし	
	県の儲かるながさき水田経営育成支援事業の適用を受け県と市で負担しているため、見直しの余地なし。						

※事業類型が1～3に該当する事業については妥当性及び有効性の評価は記入しておりません。

【ACTION(改善・改革)】

今後の方向性	現状維持	
--------	------	--

内容 今後の方向性のもとで、どのような取組をするか(課題や問題点等に対する取組など)	効率的な事務を行い、引き続き生産調整目標を目指す。
効果 事業の改善・改革によって期待される効果は何か	

1次評価	今後の方向性	担当者意見のとおり		2次評価	対象外	今後の方向性
	終期設定				終期設定	
	意見等				内容	

※1次評価は事業担当課長等、2次評価は2次評価委員会によって行われます。